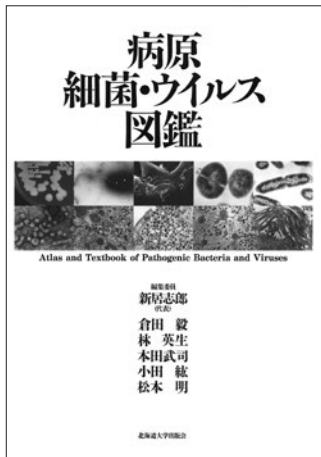


B O O K



『病原細菌・ウイルス図鑑』

編集

新居志郎・倉田 毅・林 英生
本田武司・小田 紘・松本 明

本書は北海道大学出版会から2017年11月に出版された書籍である。まずこの本を開く前に唖然とするのはそのボリュームである。厚さが7cmに及び、とても手に取って読むといった表現はできず、きちんと机の上で広げて丁寧にページをめくらなければ読めない重厚感を持っている。本書を開いて驚くのは画像の豊富さである。“図鑑”と名付けられているだけあって、各種の病原体の電子顕微鏡写真や培養および染色所見、さらに症例の画像まで貴重な画像が掲載されており、これらを眺めているだけでも飽きずに読んでいくことができる。その一方で、これだけの画像を集める苦労を思うと、編集の作業がいかに大変であったかと推察される。また個々の病原体の理解を深めるために、図表なども数多く掲載されている。

次に驚くのは、内容の豊富さである。本書は916ページという膨大な情報を有し、病原性の細菌とウイルスを広くカバーしている。細菌は一般細菌だけでなく、リケッチア、マイコプラズマ、クラミジア、スピロヘータなども解説されている。ウイルスも一般的に扱うことが困難なエボラウイルスなどのフィロウイルスや最近注目されているジカウイルスなどの記載もあり、さらにプリオンも解説されている。これだけの領域をカバーするために執筆者は150人を超え、各領域の専門家が丁寧な解説を加えている。

これらの特徴を踏まえると、本書が他に類を見ない微生物の図鑑であることは間違いなく、教育や研究の貴重な書籍になり得ると思われる。おそらく本書の読者層は医学関係者全般、特に研究者、教育者、医学生などであり、多くの方に本書を読んで頂きたい。しかし、定価が税込み64,800円と高価であるため、皆さんに購入していただきたいと言うのは正直気がとがめる。やはり図書館や施設などで購入してもらい、誰でも目に触れることができるような状態にしていれば、この書籍が有効に活用され、本書の執筆や編集にあたられた先生方のご苦勞が報われるのではないかと思われる。

松本哲哉

発行所：北海道大学出版会 定価：64,800円（税込）